「日本の COVID-19 入院患者における臨床および医療経済的アウトカムの地域比較と医薬品適正使用の評価」に使用するデータについて

国立病院機構本部総合研究センター診療情報分析部では、患者の皆様に提供する医療の質の向上を目的 として、国立病院機構臨床研究中央倫理審査委員会の承認のもと、国立病院機構に属する各病院の電子カルテ等診療情報を活用した分析研究を実施することとなりました。本研究の内容は以下の通りになります。

1. 研究の目的

本研究は日本の代表的な医療データベースである国立病院機構本部データベースに蓄積された診療情報を用いて臨床での COVID-19 患者及びインフルエンザ患者の入院時の重症度やその他特徴を明らかにし、入院や重症化の背景にある要因を明らかにし、入院後のアウトカムや医療行為、医薬品の使用実態を地域毎、疾患ごとに比較することで、地域特性及び疾患ごとに応じた医療提供体制の実情を説明し、今後の医療崩壊を防ぎ、地域特性を鑑みた入院治療が最適に行えるための知見を提供する研究です。

2. 研究の概要

2016 年 4 月～2022 年 3 月に COVID-19 感染症またはインフルエンザで入院された方を対象とします。診療情報は、医療行為やケアの内容、電子カルテ、診療報酬明細書のデータ、および「DPC 導入の影響評価に関する調査」に提出しているデータを二次利用させていただくことになります。 本研究は、日常診療から集積された既存の 診療情報を利用するものであり、新たに患者の皆様に何らかの負担が生じることはございませんので、ご安心ください。

3. 個人情報の保護について

本研究で利用させて頂く個人情報は、患者の皆様の個人情報が直接特定できない加工を行った上で、国立病院機構本部総合研究センターが責任を持って厳重に管理・保護いたします。プライバシーに係わる個人情報が外部に漏洩する事は一切ございません。 なお、本研究の成果に関しては、患者・国民の皆様や外部組織への公表、医薬学的な学会での発表や専門的な雑誌での報告を行うことがありますが、集団を記述した数値データとし、患者の皆様の個人が同定されるデータを公表することは一切ございません。

本研究の趣旨をご理解の上、ご協力いただきますようお願い申し上げます。ご自身の情報が本研究に利用されることにご了承いただけない場合、研究計画諸及び研究に方法に関する資料の閲覧をご希望される場合、本研究で利用する個人情報の開示等を希望される場合、または本研究についてご質問がある場合は、下記窓口までご連絡ください。それらの場合においても、皆様の病院サービスご利用について不利益が生じることは全くございません。

【問い合わせ窓口】

国立病院機構本部 総合研究センター診療情報分析部　井上紀彦

〒152-8621 東京都目黒区東が丘 2-5-21 TEL:03-5712-5133

昭和大学薬学部社会健康薬学講座薬剤疫学部門　今井志乃ぶ

〒142-8555 東京都品川区旗の台 1-5-8